



初代細胞製品（培養細胞）

## 頭蓋由来骨芽細胞培養キット F-2(マウス)

【Osteoblast from cranial bone Culture kit F-2(Mouse), Code No. OBC11】

本製品は研究目的にのみご使用になれます。

2018 年 11 月 07 日改訂

### I. 製品概要

現在、わが国では高齢化社会の到来に伴い骨粗鬆症等の骨代謝異常疾患が年々増加の一途をたどっています。骨量は、骨芽細胞による骨形成と、破骨細胞による骨吸収とのバランスによってコントロールされています。本培養キットは、マウス頭蓋由来の骨芽細胞と、培養用メディウムから構成する研究用キットです。骨形成や骨代謝等の研究にご利用ください。

### II. 使用前注意事項

本マニュアルを使用前に必ずご確認ください。

本製品はすべて【無菌操作】で実施して下さい。バイオセーフティーレベルは【レベル 1】です。

本製品の培養には付属の専用メディウムをご使用下さい。

### III. 製品の保証について

製品は培養された状態で納品されます。到着後すぐに CO2 インキュベーターに入れて培養を開始してください。

製品は保存できません。到着後速やかに実験にご使用ください。

製品は到着時又は翌日に細胞の状態を確認して下さい。

専用メディウム及び試薬を用いてマニュアル通りに培養された場合のみ、製品到着後の生育不良に関して保証いたします。当社、製品サポート（メール：[primarycell@cosmobio.co.jp](mailto:primarycell@cosmobio.co.jp)）までご連絡下さい。

保証期限は【製品お受け取りから翌日まで】です。

また、増殖不良や分化不良に関しては、製品サポートまでお問い合わせ下さい。

メディウムや使用方法に変更を加えられた場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。

### IV. 製品構成

構成	容量	本数
マウス頭蓋由来骨芽細胞	25 cm <sup>2</sup> フラスコ	2 枚
培養用メディウム	500mL	1 本

培地の主成分：α-MEM、血清、抗生剤、その他

※β-グリセロフォスフェイトは含まれていません

※専用メディウムは単品販売もごさいます。詳しくは Web([www.primarycell.com](http://www.primarycell.com))

からご確認ください。

使用動物組織 : ICR マウス・1～3 日齢の頭蓋

発送日 : ※※年※※月※※日

Lot No. : ※※※※※

[www.primarycell.com](http://www.primarycell.com)



## V. 操作方法

※本製品は【2回継代可能】です。

### 培養方法

25cm<sup>2</sup> フラスコ内部に培養用メディウムが充填されています。入荷後直ちに位相差顕微鏡にて細胞が剥がれていないことを確認してください。



各フラスコから輸送用メディウムを残量が 5mL になるまで抜き取り、5%CO<sub>2</sub> 存在下の 37℃インキュベーターで 1 日間培養してください。



翌日、保温した培養用メディウムで培地交換し、任意の実験系に供してください。

※継代する場合は下記の方法を引き続きおこなってください。また継代回数は 2 回以内にしてください。

### 細胞培養方法、継代する場合

#### 【準備するもの】

- ・滅菌済み平衡塩 (Hank's BSS もしくは PBS(-)) → 予め保温 (37℃) した状態で使用してください。
- ・トリプシン-EDTA 溶液(0.05%トリプシン-0.53mM EDTA)
- ・実験に使用する培養容器

25cm<sup>2</sup> フラスコで培養した骨芽細胞 (コンフルエント状態) を用意してください。



フラスコ内の培地を吸引除去し、滅菌済み平衡塩 5mL 加えて洗浄してください(この操作を 2 回繰り返してください)。



フラスコ内の滅菌済み平衡塩を除去し、トリプシン-EDTA 溶液 3mL を添加して培養表面を行き渡らせた後、直ちにフラスコ内のトリプシン-EDTA 溶液を吸引除去してください。



フラスコを 37℃インキュベーターに静置して酵素処理をおこなってください。

検鏡で細胞が丸くなるのを確認し、フラスコを軽くたたき培養面から細胞が剥がれるまで酵素処理をおこなってください (酵素処理時間は通常 2~3 分間程度)。



フラスコ内に培養用メディウムを加えて酵素処理を停止し、分散した細胞を遠心管に回収し、4℃、600 g で 5 分間遠心してください。



上清を除去後、培養用メディウム加えて沈殿した細胞を浮遊し、4℃、600 g で 5 分間遠心してください。



上清を除去し、培養用メディウム加えて細胞浮遊液を調製した後に、血球計算盤で細胞数をカウントし、任意の実験系に適切な細胞密度になるように調整してください。

※細胞密度を  $3.0 \times 10^4$  cells/cm<sup>2</sup> で播種した場合、2~3 日後にコンフルエントになります。



培養容器に播種して任意の実験系に供してください。



《本製品をご利用になられた文献、発表データ》

本製品をご利用いただき、投稿された論文、学会発表パネルなどを送付いただきましたお客様に粗品を進呈させていただきます。ご提供いただきました論文などは、WEB やカタログ、技術資料を通じて多くの研究者の方への技術情報として利用させていただく場合がございます。是非皆様のご協力をお願いいたします。

送付先：〒047-0261 北海道小樽市銭函 3 丁目 513 番 2

コスモ・バイオ株式会社 札幌事業部 あて郵送

または primarycell@cosmobio.co.jp あて PDF ファイル送信



コスモ・バイオ株式会社  
COSMO BIO CO., LTD.

〒135-0016 東京都江東区東陽 2-2-20 東陽駅前ビル  
URL : <http://www.cosmobio.co.jp/>

● 営業部（お問い合わせ）

TEL : (03) 5632-9610 FAX : (03) 5632-9619

TEL : (03) 5632-9620

● 札幌事業部（技術的なお問い合わせ）

TEL : (0134) 61-2301 FAX : (0134) 61-2295

E-mail : primarycell@cosmobio.co.jp

URL : <http://www.primarycell.com/>